

教育目標「豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい稲中生」

「目指す生徒の姿」
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健康で働く生徒

師弟一如

稲田中学校学校だより
第 23 号
平成 27 年 1 月 19 日
文責 校長 安齋 次弥

3年生頑張ってます！！ 入試に向け、面接の練習中！！



12月から面接の練習を行っていますが、3学期になり、2巡めの面接の練習を校長や学年の先生方を中心に、放課後等を使って面接の練習を行っています。

そこで、必ず確認していること・・・それは「なぜ、その学校の〇〇科なのか」という志望動機の確認です。ほとんどの人が、明確に答えることができますが、中には、今になってもあいまいな人もいます。高校生活を充実させる意味でも、自分は何ぞその学校の〇〇科なのか、1年生の段階からもしっかり持っている人に限って、中学校での生活や学習への取り組みに意欲を持っているようです。

私立高校入試始まる

1月15日（金）より帝京安積高校、尚志高校の推薦、特待等の入試がいよいよ始まりました。これまでの面接の練習や作文等の成果を試す事になります。これから県立I期や私立の一般入試に向けていよいよ進路の季節到来です。体調管理はもちろんですが例年入試が近づく不安定になる人もでてきます。今までの自分の努力を信じ、落ち着いて入試に望んで欲しいです。

1, 2年生の生徒の皆さんはまだまだ、先の話で関係ないなんて思っているかもしれませんが、私立の推薦基準では3年間の欠席日数30日以内という学校があります。安易に学校を休まない・・・。健康面、心身面で強い中学生になって欲しいです。

- ・ 1/19～1/22 県立I期出願・
- ・ ・
- ・ ・ 1/19 郡山女子大学附属高校推薦入試
- 1/20 日大東北高校推薦入試



自由参観実施！！

お忙しい中また、お寒い中
ご来校ありがとうございました！！

1月18日、19日の二日間は今年最後の自由参観日でした。多くの方の参観は残念ながらありませんでしたが、民生委員や主任児童委員の方々がおいでくださいました。お忙しい中、また、お寒い中ありがとうございました。本校は学期1回ずつ自由参観を実施しております。常日頃なかなか中学校へ来る機会の無い地域の方々にも公開しています。公開していない時でも結構です。お近くにお寄りの際は、職員室に言っていただければ結構です。今後とも、中学生の様子など聞かせてもらえたらと思います。

「家族の日」スタート

1/15～1/21

家族がそろって過ごす時間を大切にしたい。平成30年度の小中学校一貫教育開始に向けた取組の一つとして稲田小学校、稲田中学校が合同で実施します。稲田地区は、家庭に帰ってからの限られた時間、テレビや携帯電話、スマホ、パソコン、ゲームなどで時間を無駄に過ごしている生徒が多いのが現状です。今年度行った全国学力学習実態調査や本校独自の調査からも毎日2時間以上ゲームやライン等を行っている割合は、県や全国よりも高い比率です。その割に、残念ながら勉強時間となると少ない傾向があります。15日から21日の間で、ご家庭で話し合ってください日時を決め実施してみてください。内容的には、家族での読書、スポーツ、体験活動、奉仕活動等、メディアに依存しない生活することを試みて欲しいです。後日プリントを配布いたします。実際に家族で取り組んだ内容をご記入していただきます。保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、趣旨をご理解の上ご協力をお願いします。



入試直前の心構えについて！！ 3年生ラストスパートです

入試を間近に控えアドバイス

私立高校の入試が本格化し、間もなくI期選抜も実施されます。どのような点について注意しなければならぬか、アドバイスします。1, 2年生の皆さんにも関係のない話ではありません！！参考にしてください。

◇ 生活のリズムは朝型に

この時期受験生は、夜になると目がさえてくる夜型の人が多いのではないのでしょうか？生活のリズムは朝型にして、本番と同じ時間帯に集中できるように慣らしておくことが大切です。また、朝は暗いですが、少なくとも6時には目覚めるようにしておきましょう。人間の脳は起きてから3時間経過しないと活性化しないそうです。

◇ 実践力中心の学習を

入試直前の時期は、どんどん問題を解いて、覚えていない箇所やわからないところをチェックし、再度覚え直すなどの方法が有効です。また、必ず過去の入試問題を解くことをお勧めします。そして、ただ解くだけではなく、本番を意識して正確に時間を計って解くことが大切です。時間で計ることによりこの位のペースで解かなくてはならないか知ることには合否に大きく左右してきます。入試は、『できることから解く』ことが鉄則です。そこで確実に点数をとるためには、難しい問題に時間をかけるよりも、確実に解ける問題から解いて、最後にケアレスミスがないかどうか見直すことが重要です。そのためには、過去の問題は1回だけで終わらず、何回か繰り返して解くことが非常に大切になってきます！！